



別府市消防団報『暖』

2号



この放水は、泉都別府を見下ろす「扇山」を模っています。(平成28年出初式)



ごあいさつ

別府市消防団長
片岡 典之

別府市消防団報「暖」第2号が発刊の運びとなりました。団員の皆様には、様々な職業に就きながら、火災をはじめとする各種災害に身を挺して郷土を守る、崇高な任務を担っていただき感謝に堪えません。

観光都市である別府は、年間多くの観光客が訪れ、世界に誇れる温泉を楽しんでおられます。癒しの場として、「安心して ゆっくり過ごせる 安全な別府」提供するため、消防本部・署員の皆さんとともに活動をしています。

今回、この団報「暖」2号により、その活動の一部を皆様にお伝えできれば幸いです。

今後も、多くの皆様から投稿などもいただき、充実した内容に努めますのでご支援と・ご協力をお願いします。



別府市消防長
河原 靖繁

4月の異動により、消防長を拝命いたしました河原でございます。

この度、別府市消防団報「暖」2号の発刊にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

団長をはじめ団員の皆様には、「市民の生命財産を守る」という尊い郷土愛の精神で、日頃の消火活動のみならず、昼夜を分かたず果敢な防災活動は、地域防災力の中核として不可欠な存在となっており、衷心より深く感謝申し上げます次第であります。

結びに、この団報「暖」が、市民や消防職・団員に親しまれるコミュニティー広報誌となりますようご祈念申し上げます。

☆☆☆第21回全国女性消防団員活性化佐賀大会に参加して☆☆☆

平成27年10月29日、「第21回全国女性消防団員活性化佐賀大会」が佐賀県文化会館で開催され、別府市消防団からは、5名の女性消防団員が参加しました。

この大会は、全国の女性消防団員が一堂に集い、日頃の活動や成果を紹介するもので、意見交換を通じ連携を深めることにより、女性消防団員の活動をより一層活性化させることを目的に開催されています。

今回は、「葉隠の里 ようこそ佐賀へ 明日への創造～地域・生命・未来を守る女性消防団～」を大会テーマに全国の女性消防団員約3,000名が参加して盛大に開催されました。

午前中は、日本消防協会の秋本会長と女性消防団員の課題解決に向けたパネルディスカッションが行われ、午後からは活動報告に続き、佐賀県出身で柔道家の古賀稔彦さんの記念講演が行われました。

活動報告では、全国から4団体が先進的な活動事例の発表や防火啓発の人形劇、また、小学生を対象とした救命講習について等も紹介され、参加者からは大変勉強になりましたとの事でした。

今回の女性消防団員活性化大会で得た内容は、今後の活動に活かされるものと思います。

雨量と水害

1時間に20ミリ以上の雨がふると、地割れや地表が荒れたり、ガケ崩れの危険が予想されます。



1時間雨量 5～15ミリ

- 地面に水たまりができ、雨の降る音が聞こえる。



1時間雨量 15～20ミリ

- 地面一面に水たまりができ、雨の音で話が聞きとれない。



1時間雨量 20～30ミリ

- いっゆる土砂降り状態で下水があふれる。



1時間雨量 30ミリ以上

- バケツをひっくり返したような雨が降る。



全国女性消防団員活性化佐賀大会会場



昇格者及び新入団員の辞令交付式

新入団員紹介

松藤 雅俊	第十三分団	池田 光一	第十二分団	宇都宮 由佳	本郷 功	阿部 孝	久米 守	堀 健太	戎藤 忠	三重野 光夫	貞山 智烈	小野 康之	河野 台補	第九分団一部	武田 光治	第八分団二部	後藤 優明	第八分団一部	後藤 隆伸	鬼塚 利道	第六分団	秋吉 香織	第二分団	女性分団	第十七分団



昔も今も 火の用心

先輩団員の皆さん、ご指導をよろしくお願いします。

方々が新たに入団されました。

平成二十七年には、十九名の

消防団員が新たに加入されました。

先輩団員の皆さん、ご指導をよろしくお願いします。

平成二十八年年度 年間主要行事予定

四月 扇山火まつり警備
四月 団員辞令交付式
五月 幹部行政視察研修(県外)
五月 県下団長会議(豊後大野市)
五月 危険予想箇所防災パトロール
六月 団員特別教育操法科(消防学校)
六月 全国女性消防団員活性化大会(北海道)
八月 第一回県下消防団幹部研修会
八月 消防操法大会(消防学校)
九月 市民救急フォーラム BPRU
十月 幹部教育警防・機関科(消防学校)
十月 団員辞令交付式
十一月 消防団装備品点検
十一月 幹部教育場指揮科(学校入校)
十一月 「秋季火災予防運動」
十一月 分団管轄内防火広報活動
十一月 市民と消防のつどい
十一月 高齢者一人暮らし防火訪問(女性団員)
十一月 県下団長会議(由布市)
十二月 消防殉職者慰霊祭(消防学校)
十二月 大分県消防大会
十二月 第二回県下消防団幹部研修会
一月 消防団年末特別警戒
一月 幹部教育分団科指揮課程(学校入校)
一月 消防出初式(スバビーチ)
二月 消防団幹部研修会
二月 女性消防団員研修会(大分市)
三月 「春季火災予防運動」
三月 分団管轄内防火広報活動
三月 消防団春季訓練
三月 高齢者一人暮らし防火訪問(女性団員)
三月 新入団員教育訓練
その他 消防団員個別訓練
地域防災訓練等

林野火災想定中継送水訓練の実施

一昨年、湯山で発生した林野火災では、広範囲でしかも急傾斜地における防御について、種々の諸問題が見受けられ、水利部署や中継送水要領、署と団の連携等を再度検証し今後の活動に活かそうと全ての分団を3班に分け、林野火災を想定した中継送水訓練を行いました。

この訓練には、延べ327名の団員と47名の消防本部員・署員が参加し、背負い式水囊の取り扱いなども含め、実戦に則した内容で3時間を有意義に使い行われました。



☆ホースの搬送☆



☆延長後伝令に走る☆



☆計器を確認し安定した送水を行う☆

平成27年度新分団長に聞く



第11分団菅野分団長の勇退により、4月に分団長を拝命しました梶原英敏です。

友人に誘われ昭和61年12月1日入団、印象に残る災害として平成16年12月11日、21時ごろ発生した鉄輪のホテル火災の記憶が今でも鮮明に残っています。

分団長としての抱負としましては、別府市民の安全を守るとともに、第11分団をしっかりまとめ、与えられた任務を精一杯全うしたいと思っています。

消防団員等福祉共済に係る入院見舞金の支給が緩和されます。

改正前

入院日数15日以上で1日1,500円が給付されます。

改正後

入院日数7日以上で、1日1,500円が給付されます。

☆ この支給要件は、平成28年4月1日から適用となります。



消防団員募集中

あなたが地域を守る大きな力となります

あなたの力を
買ってください



【問い合わせ・申し込み先】

消防団員募集推進委員（各分団長・副分団長）又は、

別府市消防本部 庶務課（☎代表 25-1122 直通 25-1123）まで！

e-mail: fire-dep@city.beppu.oita.jp

消防団は、地域防災の要として「地域や家族を守りたい」そんなあつい思いで活動を続ける集団です。

《消防団幹部視察研修》

*平成27年5月24日(日)～25日(月)

団長以下25名・職員随員1名の計26名で、島原市消防団を視察させていただきました。

あの大火碎流そして、その後の土石流により甚大な被害を出した雲仙普賢岳、平成2年11月に198年ぶりに噴火し、翌年5月には溶岩ドームが出現、6月3日に大規模火碎流が発生し、警戒警備中の多くの消防団員を含め43名もの尊い命が奪われてしまいました。

別府市も活火山である鶴見岳を有し、決して対岸の火事とすることなく、真剣に研修を受けさせていただきました。



担当者から、当時の詳しい経過と活動を伺い、その後の復興状況を熱く語っていただきましたが、改めて自然災害に対し警戒心を怠ることなく、普段の心構えの重要性を感じたところです。

今回お世話になりました島原市、島原市消防団並びに、島原地域広域市町村圏組合消防本部の担当していただいた職・団員の皆様に深く感謝申し上げます。

施設消防団係 宮本 篤志



団幹部紹介

団本部

- 団長 片岡 典之
- 副団長 藤内 英伸
- 副団長 内村 誠七
- 本部分団長 中嶋伸一郎

分団

- 女性分団長 原田かほる
- 第1分団長 小野 征治
- 第2分団長 月足 原之
- 第3分団長 浦野 洋史
- 第4分団長 関 正勝
- 第5分団長 岩尾 一裕
- 第6分団長 彌田 万平
- 第7分団長 平松 幹雄
- 第8分団長 脇 博之
- 第9分団長 藤内 正行
- 第10分団長 松田 正一
- 第11分団長 梶原 英敏
- 第12分団長 大野 武人
- 第13分団長 荒金日出夫
- 第14分団長 齋藤 孝一
- 第15分団長 後藤 毅
- 第16分団長 小川 健
- 第17分団長 佐藤 博幸

【親睦ソフトボール大会開催】



第9分団藤内分団長から、署員との親睦ソフトボール大会の申し出を受け、去る10月25日(日)午後実相寺多目的グラウンドにおいて開催されました。

団長にあいさつをいただき、準備体操の後1イニング7回戦を戦い、僅差にて消防署チームの勝利となりましたが、好プレー・珍プレーに会場は沸きお互い親睦の深まりを感じた大会で終了しました。

参加されました選手の皆さん、大変お疲れ様でした。

編集後記

団報「暖」2号をお届けします。
年1回の発行ですが、時期が迫るにつれ気には掛けていたものの、構成に手間取るのは、人生で2回目の広報誌作りであること勝手に思い込み、自分を慰めています。
今回も、天井を眺め、独り言を言いながら発刊に至った様子を想像しながらご覧下さい。

施設消防団係 T.Y

叙 勲

平成27年春
端宝単光章
元第12分団長 西山 重郎 様

平成27年秋
端宝単光章
元第13分団長 西本 義矩 様

受賞おめでとうございます。

・・・叙勲とは・・・
国家又は公共に対して功労のある者に勲章を授与し、栄誉を与えることを言う。